

三村氏(岡山総合病院)を表彰



松田理事長から表彰状を受け取る三村氏(左)

93例(2013年末現在)と、中四国で屈指の実績を誇る。

贈呈式では、松田理事長が三村氏に表彰状と賞金100万円を手渡した。三村氏は「思いもよらない賞をいただき感謝している。一層精進し、地域医療に貢献するとともに後進の育成に力を注ぎたい」と話した。

松岡良明賞は、山陽新聞社の故松岡良明元社長の遺族から寄託された基金により創設。昨年、佐々木勝美相談役が1千万円を寄託し増額された。選考は岡山県健康づくり財団が行い、山

陽新聞社会事業団が決定、がん征圧月間の9月に表彰している。(井上光悦)

岡山県HPに動画

松岡良明賞 肝胆膵がん治療

山陽新聞社会事業団(松田正己理事長)は、がん撲滅に功績のあった個人、団体をたたえる第19回「松岡良明賞」の贈呈式を9日、山陽新聞社(岡山市北区柳町)で行い、岡山済生会総合病院(同伊福町)院長代理の三村哲重氏(65)と同津島南を表彰した。

三村氏は、消化器外科の中でも難易度が高いとされる「肝胆膵領域」の治療が専門。25年にわたり肝臓がん、胆道がん、膵臓がんの手術を積極的に行い、安全な手術の確立と治療成績の向上に取り組んだ。この領域の手術数は肝臓がんの1092例を中心に、計17